

事業所名	笑子 (にこ)				支援プログラム (参考様式)	作成日	令和8 年	1 月	10 日	
法人 (事業所) 理念	<p>1 自分を好きになる 苦手なことも受け入れながら、一人ひとりの得意や魅力を見つけ、自己肯定感を育むことを大切にします</p> <p>2 リズムでつながり心とからだ 笑顔でのびのびと過ごせる環境の中で、運動やリズム遊びを通して心と体の調和の取れた発達を育むことを大切にします</p> <p>3 みんなとつながり社会で輝く 友達・家族・地域とのつながりを大切に、ともに育ち合いながら社会の中で生きる力を育むことを目指します</p>									
支援方針	<p>一人ひとりの「できた」や「やってみよう」という気持ちを大切に、安心してできる環境の中で育ちを支えます。 運動や音、テンポを取り入れたリズム活動を支援の柱の一つとしています。リズムトレーニングは、身体を動かす楽しさを通して、注意の向けやすさや気持ちの切り替えなど、日常生活に必要な力を育むことを目的としています。 遊びの中で「感じる・動く・真似をする・待つ・一緒に」といった経験を重ねることで、心身の土台づくりを支援します。 その時々への反応を大切にしながら、安心して参加できる環境のもとで継続的に取り組んでいます。</p>									
営業時間	8 時	0 分	から	17 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<p>～安心してできる毎日が育ちの土台になる～ 生活リズムや基本的な生活習慣を整え「できた」という経験を積み重ねながら自信を育てます。 できていないことを注意するのではなく、そこまでの過程を楽しみ振り返ることで次の挑戦につながる支援を行います。 生活動作も練習ではなくあそびの延長として取り入れていき、子ども達の「自分で」を育てます。 例) 見通しを持って生活ができるようにスケジュールカードの活用 休憩、クールダウンの時間を大切に環境設定 手洗いや身支度を真似っこ遊びで体験</p>								
	運動・感覚	<p>～体を動かす楽しさが心を開く～ 粗大運動・微細運動・感覚統合を促し自分の体を思い通りに使う感覚を育てます。 「危ないからだめ」ではなく「ここをこう使うと安全だよ」という言葉かけや環境設定をします。 成功しやすい動きを少しずつレベルアップすることで達成感を大切にします。 例) スポーツリズムトレーニング 感覚統合のためのセンサリートイ・触覚素材遊び</p>								
	認知・行動	<p>～わかる出来るが増えたら行動は安定する～ 見通し・理解・選択する力を育て、落ち着いて行動できる土台を作ります。 行動を止めるのではなく次は何をするかを見える形で伝えます。 指示ではなく選べる関わりを重視します。 例) スモールステップで達成できる課題設定 ルールのあるゲームや遊び (じゃんけん列車、鬼ごっこなど) 買い物学習</p>								
	言語 コミュニケーション	<p>～伝えたい気持ちを言葉と表情で～ 理解する力・伝える力を育て人とのやりとりを楽しみ感じられるようにします。 話せないことに着目するのではなく、伝えようとする姿勢そのものを大切に、認めます。 コミュニケーションや会話の正解を求めず、やりとりの経験を重ねます。 例) 絵本・ごっこ遊びを通じた職員や友達との会話 気持ちカード・表情カードの活用 ジェスチャーゲームや伝言ゲーム</p>								
	人間関係 社会性	<p>～つながりの中で自分らしく～ 友達や大人との関わりを通して、社会の中で安心して過ごす力を育てます。 トラブルを叱るのではなくどうしたか一緒に考え、解決する力を育てます。 集団が苦手な子どもでも安心してできる形から段階的に参加できるように設定します。 例) ペア遊び・協力遊び SSTロールプレイ 地域や季節行事を取り入れた活動</p>								
家族支援	定期的な面談やアンケートの実施、LINE等を活用した相談受付を行い、保護者の方が安心して相談できる環境づくりと信頼関係の構築に努めています。また、連絡帳でのやり取りに加え、日々の送迎時に子どもの様子や成長、姿を丁寧共有し、家庭と情報を交換しながら協力して支援・療育に取り組める体制を大切にしています。	移行支援	就園・就学・進級・進学等のライフステージの変化に際し、子どもたちが新しい環境へ安心して適応できるよう支援を行います。保護者の意向を踏まえながら保育所・幼稚園・学校など関係機関との情報共有や引き継ぎを丁寧に行い、これまでの支援内容や配慮事項が継続されるよう連携し切れ目のない統一した支援体制の構築に努めます。							
地域支援・地域連携	保育所・幼稚園・学校・医療機関・行政等と継続的に情報共有や意見交換を行い、子どもの発達段階や生活状況に応じた切れ目のない支援体制の構築に努め、地域全体で子どもの成長を支える環境づくりに貢献しています。	職員の質の向上	月に一度、外部講師を招いた研修会を実施し、専門性の向上に努めています。また、ヒヤリハット事例や支援事例をもとに随時検討会を行い支援の振り返りや安全意識の共有を図っています。							
主な行事等	<p>季節の制作や遊び (お花見、鯉のぼり制作、雨の戸外遊び、水遊び、敬老の日製作、紅葉狩り、クリスマス会、書き初め、豆まき、ひな祭り製作など) や他のイベントなど、毎月一度は保護者の方に自由に参加していただける行事を計画しています。保護者参加可の行事とは別に避難訓練 (火災、災害、通報訓練、不審者訓練) も実施しています。</p>									